令 和 7 年 度　学 校 自 己 評 価 シ ス テ ム シ ー ト （ 県立越谷総合技術高等学校 ）

※学校関係者評価実施日とは、最終の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

目 指 す 学 校 像	チームで働く力を身につけた人間性豊かな産業人材を育成する学校

重　点　目　標	1　主体的に学ぶ姿勢を育て、生徒一人一人の学力を向上させる。 2　越総生としての自信と誇りを持たせ、豊かな人間性を育てる。 3　キャリア教育の充実により、生徒の個性や可能性を伸ばし、主体的な進路実現を支援する。 4　本校の教育力を地域で発揮し、地域社会との連携・協働により学校の魅力化を進める。

達成度	A	ほぼ達成（８割以上）
	B	概ね達成（６割以上）
	C	変化の兆し（４割以上）
	D	不十分（４割未満）

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局（教職員）	名

※　重点目標は３つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※　番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学　校　自　己　評　価								学　校　関　係　者　評　価
年　度　目　標					年度評価（　月　日 現在）			実施日　令和　年　月　日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	【現状】 学校全体で授業力向上に取り組んでいる。授業満足度は、９０％以上と高く、生徒に寄り添った教育実践が評価されている。 【課題】 授業には満足しているが、学習習慣が確立していない生徒が多数いる。	ＩＣＴをさらに活用した、学校全体の授業力向上、学習習慣の定着	①効果的な指導方法、評価方法を検討し、カリキュラムを設計する。 ②タブレット端末等を活用した自主学習を推進する。 ③朝学習の時間を用い、基礎学力向上のための学習習慣を定着させる。	①教科毎のカリキュラムマネジメントの実施（各学期１回以上）、観点別評価に関する総括の実施。（教育課程委員会１２月） ②自主学習にタブレットを積極的に使用するように、宿題や課題をタブレットへ配布 ①②授業満足度９０％以上（授業学習に関するアンケート　　Ｒ６年度９０％） ③朝学習の時間を有効に使えたか。				
2	【現状】 「礼儀正しさや身だしなみ」や「ネットトラブルの指導案件が発生していないこと」について、外部から高い評価をいただいている。 【課題】 部活動の参加率の低下、学校生活に悩みを抱える生徒の増加。	○越総生としての自覚と誇りを育み、礼儀正しい態度の育成	①挨拶運動や身だしなみ指導により、規範意識を醸成する。 ②部活動の日を徹底し、部活動参加率を向上させる。 ③実践的・体験的な人権教育を推進し、人権感覚を磨く。	①挨拶運動の実施（学期１回）、身だしなみ指導（年５回以上） ②部活動の日の徹底（月、金）、部活動参加率の向上（前年比） ③人権感覚育成プログラムの実施				
		○安心・安全な学校生活の保障	①ネットトラブル防止講演会を継続実施し、ネットトラブルを未然に防止する。 ②校外交通安全指導を実施する。 ③教育相談を定期的に実施する。 ④関連機関と連携した支援を行う。 ⑤いじめを未然に防止する。	①ネットトラブルによる生徒指導件数 ②校外交通安全指導（毎日） ③教育相談の定期実施（月１回以上） ④ケース会議の実施（随時） ⑤いじめアンケートの実施（学期毎）				
3	【現状】 ここ数年、内定率１００％の高水準を維持し、生徒の就職活動を強力にサポートしている。 【課題】 ミスマッチ防止、新規企業開拓、進学希望者増加による進路選択の多様化に対応する必要がある	○キャリア教育の充実	①企業との連携強化：就職ガイダンスや企業実習など、生徒と企業の接点を増やす機会を創出する。 ②生徒個々における目的の明確化：自分の将来を考え、生徒自ら到達点（目的）を明確にできるようにする。	①講演会・セミナーの実施（各学年５回以上） ②卒業生による進路講演会の実施 ①Google Classroom を利用し、説明会等の情報を積極的に生徒に伝える				
		○系統的・組織的な進路指導体制の確立	①進学希望者向けの補習授業を充実させ、学習面でのサポートを強化する。 ②自習できるよう、生徒が集中して学習できる環境を整える。	①進路指導満足度（進学・就職それぞれ80%以上達成できたか） ②進学希望者用自習室が機能したか				
4	【現状】 本校の魅力を発信できる出前授業の依頼は増加している。 【課題】 情報発信は行っているが、事後報告が多いことが課題である。	○専門性をアピールし、志願者増加の実現	①出前授業、体験入学、学校説明会、地域連携授業、文化祭、ＨＰで６学科の魅力を伝える。	①出前授業等の回数、体験入学等の参加者数、ＨＰのアクセス数（1077286、4/24）				
		○地域と連携した開かれた教育の実現	①地域企業や大学と連携し、本校の魅力を発信する。 ②未来の職業人材育成事業を活用し、地域連携や、外部講師を招聘し講演会などを実施する。	①地域事業やイベント等への参加数 ②地域等の人材を活用した学びの機会と外部講師による講演会・講習会や課題研究等での指導講評数				